

ビジネスベンチマーク活動計画(案)

平成27年度 海洋・宇宙連携委員会 End-to-Endユーザグループ
第1回検討会

平成27年10月6日

ビジネスベンチマーク活動の目的

ビジネスベンチマーク活動とは？

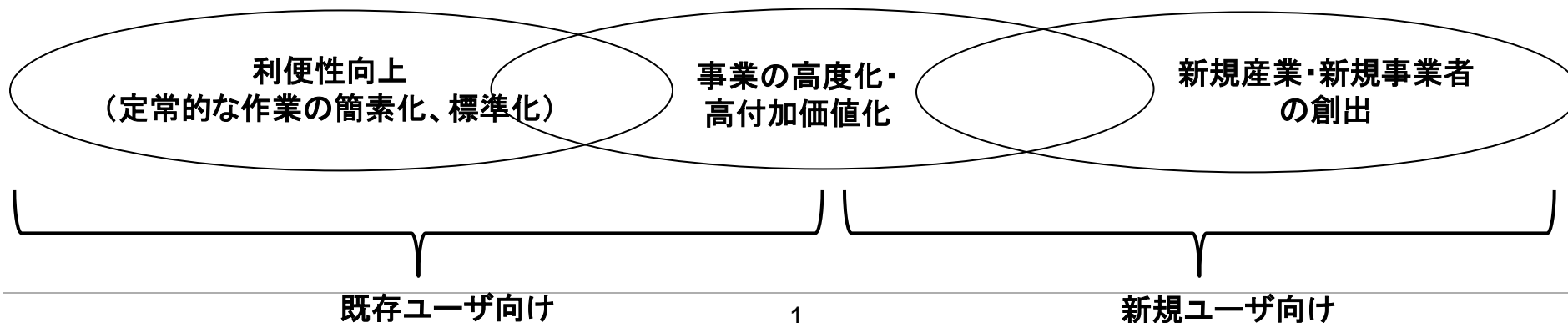
■ インタビュー、議論、デモンストレーション、将来的にはプロトタイプ利用といった、事務局とコアサービスの潜在的ユーザ(付加価値事業者、エンドユーザ)とのインタラクティブな活動

ビジネスベンチマーク活動の目的:

■ 付加価値提供者をはじめとする利用ユーザとのインタラクションを通じて

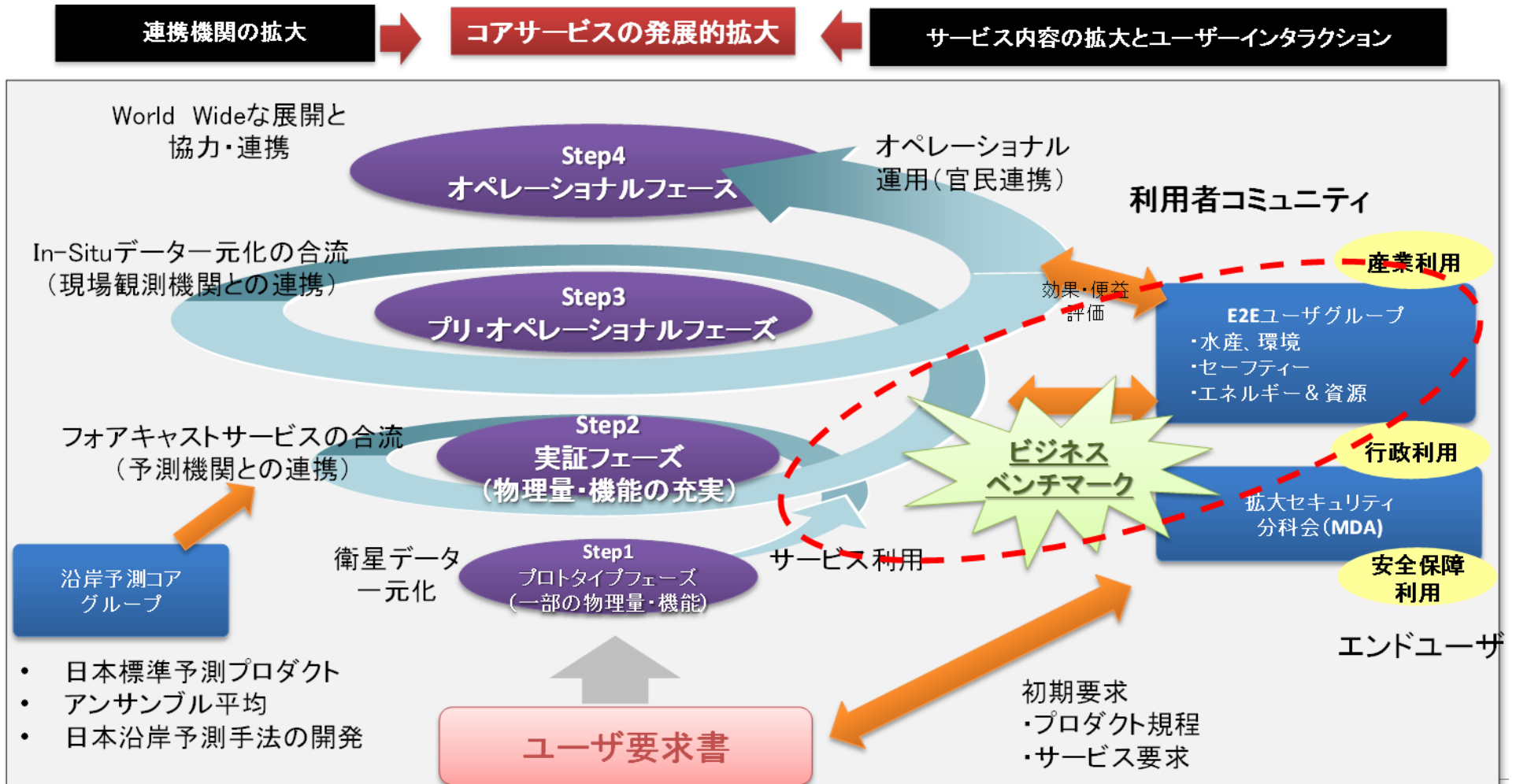
- コアサービスへの要件を吸い上げること
- ユーザのコアサービスの積極的な利用への移行を促すこと
- コアサービス利用の効果を評価すること

海洋標準WebGISを利用したコアサービス活用で期待される効果とビジネスベンチマーク活動

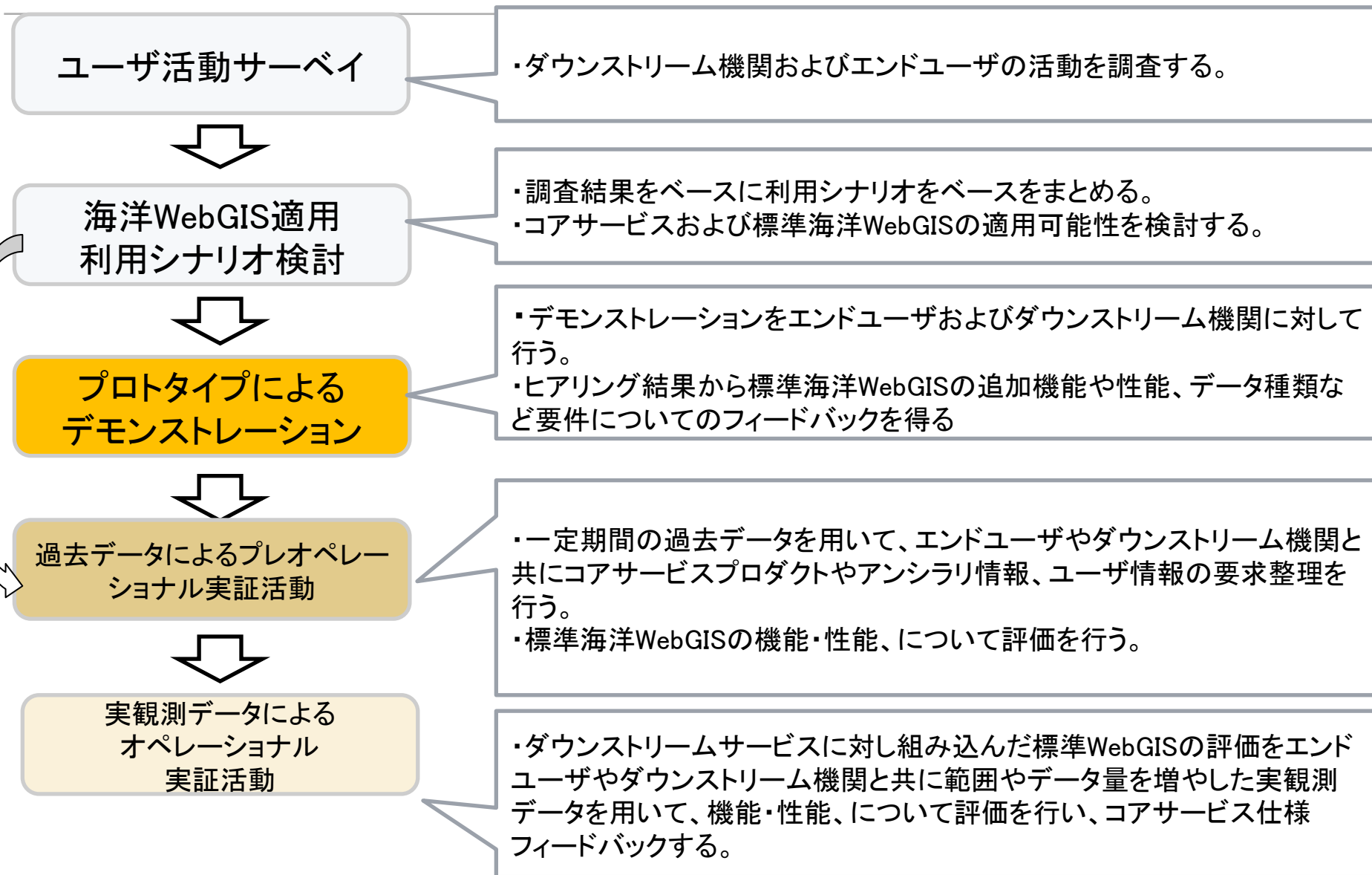


ビジネスベンチマーク活動の位置付け

衛星データの一元化を皮切りに、予測機関や現場観測機関、国外の海洋データ提供機関との連携を含めてコアサービスを段階的に整備・構築する構想において、付加価値提供者をはじめとする利用ユーザとのインタラクションを通じて**継続的に要件を吸い上げる**とともに、**ユーザのコアサービスの積極的な利用への移行を促す**ことを目的とした実証活動(ビジネスベンチマーク)を実施。



ビジネスベンチマーク活動の流れ(全体)

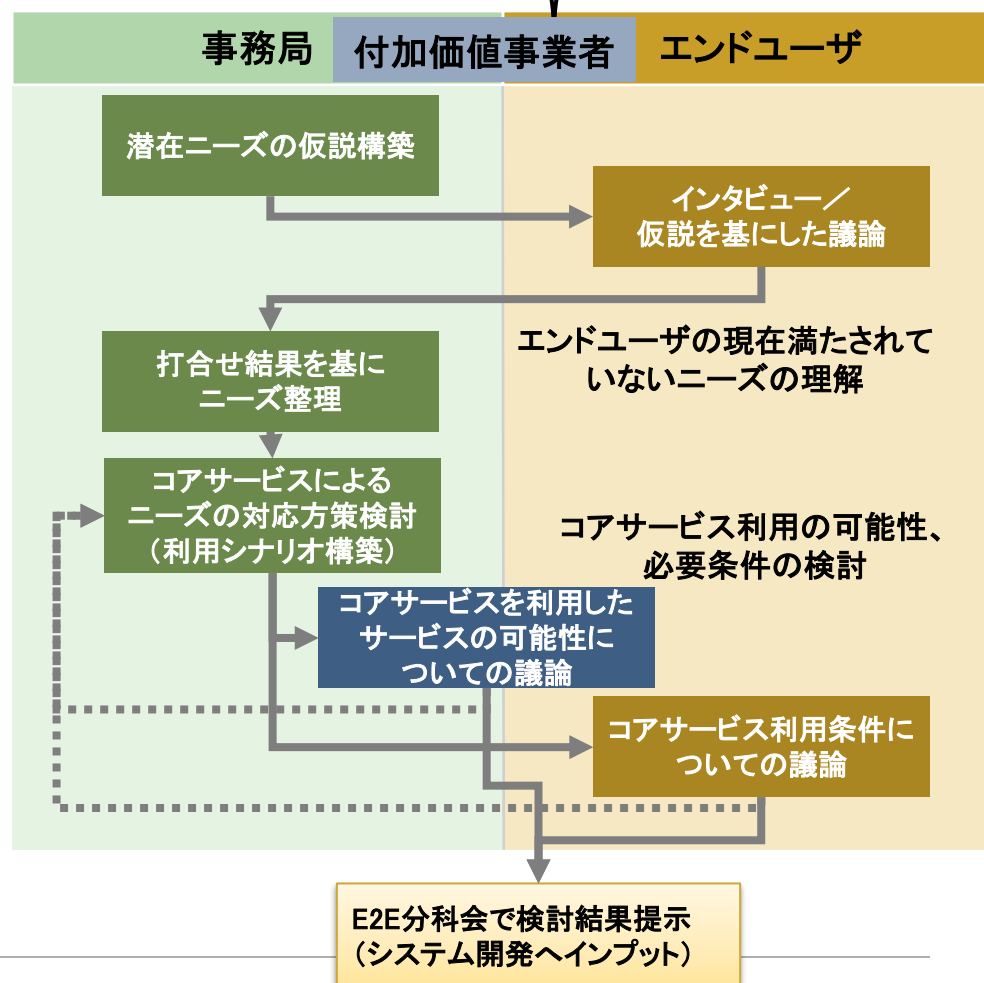
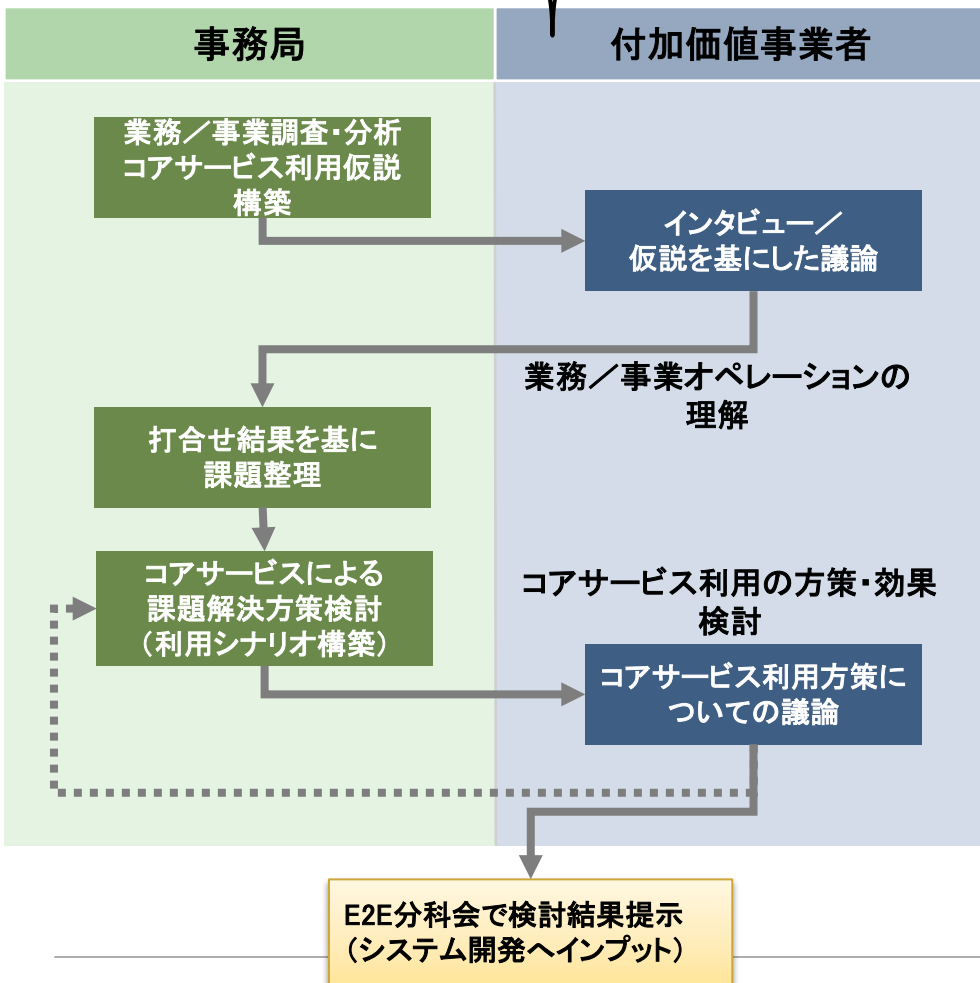


ビジネスベンチマーク活動の流れ(ユーザ活動サーベイからシナリオ構築まで)

利便性向上
(定常的な作業の簡素化、標準化)

事業の高度化・
高付加価値化

新規産業・新規事業者
の創出



平成26年度ビジネスベンチマーク活動の成果

■ 対象分野・サービス

- 漁業(沿岸、遠洋)サービス、環境関連サービス、海上安全情報提供サービス、サーファー向け情報サービス

■ 協力パートナー

- E2E分科会メンバ
- E2E分科会メンバ以外

■ 成果

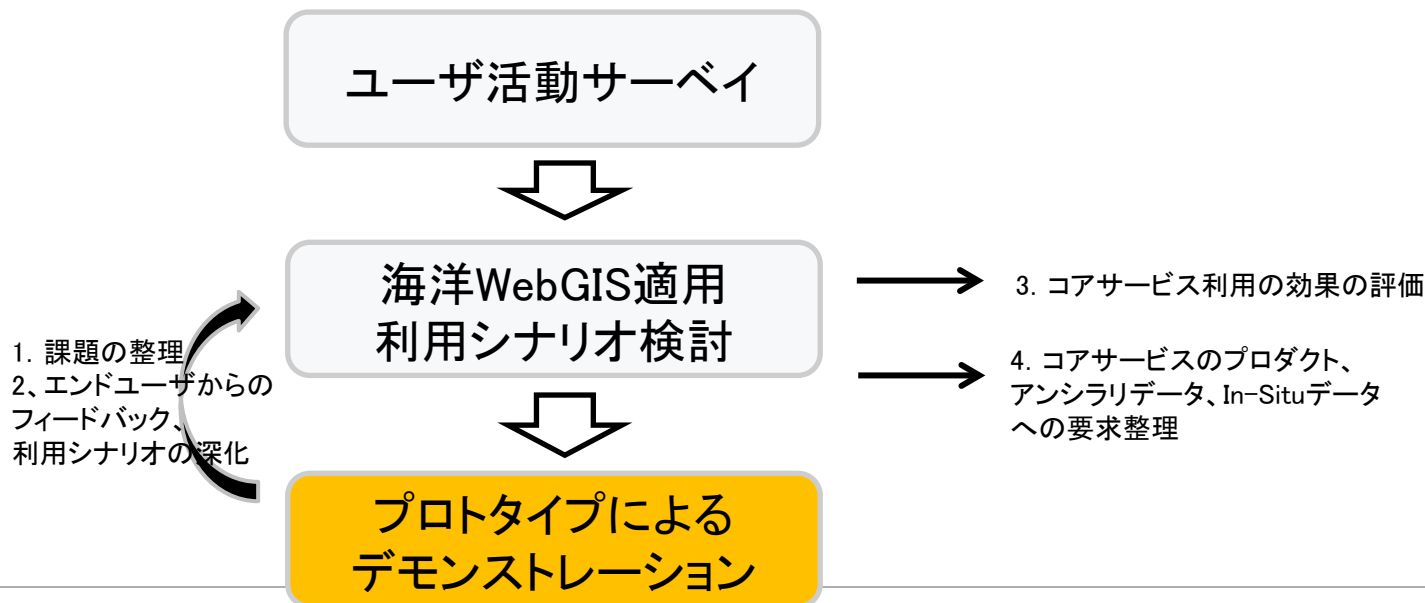
- 全分野についてユーザサーベイおよびコアサービスの利用シナリオを検討
 - 各分野・サービスでのコアサービスの利用可能性および利用価値の明確化、課題の抽出
- 沿岸漁業、遠洋漁業、環境評価、海上安全、サービス安定化の5分野については、#3E2Eでデモンストレーションも実施
 - E2Eメンバよりフィードバックを受領

平成27年度ビジネスベンチ活動計画(1)平成26年度フォローアップ

- 平成26年度にデモンストレーションまで実施した、沿岸漁業、遠洋漁業、環境評価、海上安全、サービス安定化の5分野について、フォローアップ活動を実施

■ 活用内容案

1. 海洋標準WebGISプロトタイプによるデモンストレーションで抽出された課題の整理
2. エンドユーザへのフィードバックによる利用シナリオの深化
3. エンドユーザ／付加価値事業者によるコアサービス利用の効果の評価
4. コアサービスプロダクト、アンシラリデータ、In-Situデータへの要求整理



平成27年度ビジネスベンチ活動計画(2)新規分野への展開

- 平成27年度は、新規に赤潮、現場観測連携、資源・再エネの3分野について実施
- 活動内容案
 - 平成26年度を踏襲し、ユーザ活動サーベイからシナリオ構築まで(あるいはプロトタイプ構築まで)を実施
- 想定協力パートナー
 - 赤潮:A機関
 - 現場観測連携:B機関
 - 資源・再生可能エネルギー:C機関

